がんばれ柏レイソル

覚悟と共に、強かに

不安定なシーズンを過ごしてきたレイソルが夏を過ぎて目を覚ましつつある。8月のリーグ再開から勝点を上積みして、居心地の悪かった順位表の下段部分から強かに浮上。

5人のDFと3人のMF、2人のFWで構成される現在のレイソル。最後尾のCBから最前線のFWまでをコンパクトに保ち、両サイドの幅を埋めながら素早くボールを奪い、少ない手数で相手ゴールを脅かす、攻守に集団的な戦い方が浸透。結果的に僅差での勝利が目立つが、局面での守備や攻撃の精度や強度の向上は顕著だ。

その守備の中心はスピードに富む大南拓磨選手とハイ・ヘッダーの上島拓巳選手、スペック豊かな古賀太陽選手からなる3CB。サイズや潜在能力、キャリア的にも豊かな可能性を持つ彼らの働きは大きい。

「彼らはまだ若いですが、試合を重ねるごとに自信を蓄えていると感じていますし、日ごろから話し合いをして、よく準備をしてくれています。周りからの信頼も得ながら、徐々に自分たちの立ち位置を確立しているのではないでしょうか。私はそう感じています」

ネルシーニョ監督はまず若き3CBに賛辞を送りながら、状況の好転に関しては、東京五輪期間中に行われたポジショニングの修正や意見交換などチーム全体の取り組みに言及した。

「チームが非常に良いリスタートを切れたのは中断期間中にチームがしっかりと準備をしてくれていたから。まだ降格圏に陥る、予断を許さない順位にはあるが、チームには『この先は上へ向いて戦っていこう』と伝えた。1つでも多くの勝点を掴むために」

瀬川祐輔選手や細谷真大選手から始まり、クリスティアーノ選手が連動―。鎬を削るFWたちの強い守備から全体が相手の行き先とスペースを塞ぎ、相手の自由とボールを奪い、戸嶋祥郎選手とヒシャルジソン選手が左右に展開、川口尚紀選手と三丸拡選手が縦を狙う。つい数秒前に守備者だったFWたちは一気に相手ゴール前へ突進する。その鋭さや迫力に相応しいゴール数はまだ奪えていないかもしれない。だが、ネルシーニョ監督はこう話した。

「状況が好転したのは、勝利が求められる試合で選手たちが期待に応えてくれていることに尽きます。1ゴールでも5ゴールでも勝利は勝利です。僅差での勝利が多いのは事実ですが、レイソルにとって意味のある勝利が続いている。得点差があれば、それはそれで良いのかもしれませんが、私はチームとして獲りきった勝利であると評価しています。なぜそれができたのかと言えば、それは選手たちが『勝利を懸けて戦う覚悟』にあったと私は思っています」

様々な変遷を経て辿り着いた、この「覚悟のシステム」をベースに、マテウス・サヴィオ選手や武藤雄樹選手、神谷優太選手、未だ真価を発揮しているとは言い難い新加入ブラジル・カルテットらがチームに新たなクオリティをもたらすことが期待される終盤戦。ピッチの至るところでほとばしる彼らの覚悟を見届けよう。

（写真・文＝神宮克典）

柏レイソル公式ホームページ

「であうアート展」開催

松戸市

1997年の開設以来、障がい者アートを柱に活動を行っている「NPO法人グループ彩　生活工房」が、展覧会を開催。

地域と社会に開かれた大学作りを進める流通経済大学の学生たちが中心となって企画したもので、会場では絵画、粘土造形、ニードルワークなど様々な作品を見ることができる。

◆「であうアート展」

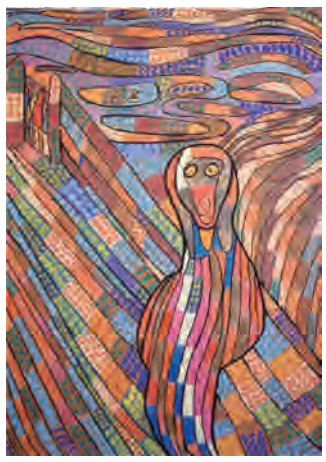
第一期：10月2日(土)～17日(日)　流通経済大学・新松戸キャンパス（松戸市新松戸3-2-1）特設会場

第二期：10月20日(水)～31日(日)　龍ケ崎キャンパス（龍ケ崎市120）・龍ケ崎市役所特設会場

開催時間：10時～17時（入場は30分前まで）

入場無料

問☎0476・28・1818（生活工房）



作：石毛尚吾（NPO法人グループ彩　生活工房　所属）

東葛沿線さんぽ 25

今月の沿線さんぽは、「もりのゆうえんち」を目指すコースです。

起点は野田市駅。建設中の新駅舎の外観や踏切跡を眺めつつ歩きます。ほどなくして右手にかわいい看板を発見。

「ぽぽぽベーぐる」は北海道産の小麦やてんさい糖など、身体にやさしい素材を使ったベーグルのお店。りんごや人参などからじっくり発酵させた自家製酵母を使って焼き上げています。古民家を改装した店内でカフェ営業も行っています。

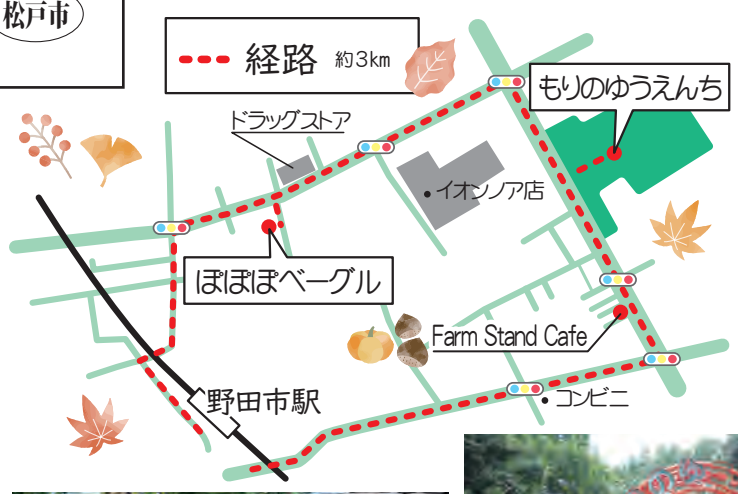
「焼きみそごはん」を使ったベーグルピザ（350円）とかぼちゃクランベリーのベーグル（200円）をテイクアウトしました。

大きな通りに面した交差点を右折すると森が見えてきました。

「もりのゆうえんち」は、平成元年にオープンしたアットホームな雰囲気の遊園地。大き過ぎない園内は小さなお子さん連れにもぴったり。都内や埼玉県など周辺各地からここを目指すのも納得です。幼児向けだけでなく、コースターやスイング系の遊具、小学生の子どもにも嬉しいカードゲームで遊べる迷路など、子どもから大人まで楽しめます。

しかも！何と衝撃の入園無料!!アトラクション毎に支払う仕組みなので、隣接するイオンノア店や周辺の飲食店に寄って再び戻ってくることも可能です。単券だけでなくお得な回数券、フリーパスなどもあります。

まずは入口で検温とアルコール消毒を済ませてから中へ。レトロかわいいメリーゴーランドが目に飛び込んできます。オープン時からあり、映画などの撮影にも使われるそうです。↖



↙かわいいメリーゴーランドを背景にベーグルをいただきました。焼きみそごはんのピザは手作り味噌を練りこんだ生地に自家製醤油麹が塗ってあり、香ばしさがチーズと合います。かぼちゃとクランベリーのベーグルも噛むほどにやさしい甘さが広がって美味しい。どちらもモチモチです!!

園内を歩いていると、家族連れに交じって、高校時代の同級生という地元の若者3人グループに遭遇。子どもの頃に家族とよく訪れ、今回、十何年ぶりに来てみたのだとか。「ここは思い入れのある場所。来てみたら変わってなくて。懐かしい」と話していました。

市内のあちこちから見える観覧車は県内1の高さ65メートルを誇ります。実際に乗ってみると想像以上に高くて見ごたえ抜群。筑波山やスカイツリー、都内のビル群も見えました。日によっては富士山も見えるそうです。

各遊具の使用後にはスタッフが丁寧にアルコールで拭いていました。

取材を忘れ、楽しんだ後は再び出発。地下道をくぐり、日光街道の脇道として江戸時代に整備された日光東往還を歩いたら、地元の新鮮な野菜を直売する「ファームスタンドカフェ」を発見しました。

駅方面へ歩く途中、メリーゴーランドで流れていた、思わず笑顔になる優しい音色が頭の中を巡っていました。ご近所遊園地として子どもの時に遊び、楽しい記憶を積み重ね、大きくなって戻って来るって素敵。子どもには楽しくて、大人にはちょっと懐かしい感じのかわいい遊園地でした。ちなみに今年横浜にオープンしたヨコハマエアキャビンと同じ運営会社だそうです。エアキャビンもコロナが収まったら行ってみたい。（写真・文＝土肥佳子）

■**ぽぽぽベーグル**

野田市中根66

☎04・7122・1320

営業：10時～19時

休：月・日・祝

駐：2台

■**もりのゆうえんち**

野田市中根6-1

☎04・7123・0851

営業：平日11時～17時

土・日・祝10時半～17時

休：水（新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当面の間木曜も休園）

駐：1800台（無料）

営業時間等の詳細はHPをチェック！

■**ファームスタンドカフェ**

野田市中根18-50

営業：10時～18時

休：水